授業科目　作業療法の理論

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	作業
岩崎テル子	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【一般目標：ＧＩＯ】

根拠に基づく作業療法（EBOT）は理論に支えられ初めて実践できることを理解する。

【行動目標：ＳＢＯ】

1．専門職の位置づけと理論との関係を説明できる。
2．臨床における理論の使われ方（理論的推論と臨床の推論）を実例を通して述べることができる。
3．代表的作業療法理論について述べることができる。
4．作業療法における問題の問い方（評価）答え方（治療）の実例を代表的理論から抽出することが出来る。
5．作業療法理論の歴史的変遷について述べることができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	専門職の位置づけ（Moseyの作業療法の輪郭・専門職モデルの構成要素）	1	講義・討論
2	臨床における理論の使われ方（理論的推論と臨床の推論－効果判定と予後予測）	2	講義・討論
3	作業療法理論の歴史的変遷とと各理論のレベル	3,5	講義
4	同上	3,5	講義
5	総合臨床実習で使われた理論的背景（キーワードで捜す）	4	演習・討議
6	日本の作業療法で多く使われている理論（前提－概念－定義）	4,5	演習・討議・講義
7	日本独自の理論は生まれるか（西欧の理論との文化的相違とは）	1	討議・講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他
教科書	作業療法実践のための６つの理論	岩崎テル子監訳	協同医書出版	1996　3,296円
参考書	①作業療法の理論	山田孝・小西紀一訳	協同医書出版、	1993,　6,500円
	②人間作業療法モデル第２版	山田孝監訳	協同医書出版	1999　5,800円
その他の資料	随時配布			

【評価方法】
出席点：10％
討議・演習40％
期末試験：レポート提出50％

【履修上の留意点】
理論は実践を導く羅針盤であることを理解し、難しく考えず取り組んで欲しい。